

◆ 第6回 地域公共交通総合研究所シンポジウム プログラム ◆

令和の地域モビリティをいかにつくっていくか？

～新たな技術・新たなコンセプトで、新しい時代を切り拓く～

「激甚災害」、「公共交通の本質」などがキーワードとしてあげられているなか、国が進めるソサエティ5.0（超スマート社会）に深くかかわる MaaS 実現に向けた様々な課題や実現可能性についても、公共交通を視座に置き議論のきっかけを作りたいと考えている。世界の中で、自動運転をはじめとする IoT/AI をフル活用した新たな技術と新たなコンセプトにより地域の公共交通の未来が切り開かれていく動きが極めて活発化してきた。一方、災害により、人間の構築したものやシステム、コミュニティは一瞬にして崩壊し、「公共交通」は、人間の纏まりと繋がり、そして国や県、市町、大学、産業、事業者の知見と力を纏め上げ、崩壊した地域を作り上げる「明るい未来づくり」の大切なインフラの一つである。かかる観点から、激甚災害を通じて我々人間の知恵と勇気が切り開いてきた道を辿り、将来の明るい未来づくりに資するシンポジウムとしたい。



乗って、残そう、地域公共交通

開催体制

主催 (一財) 地域公共交通総合研究所

共催 熊本連携中枢都市圏

< 熊本連携中枢都市圏の構成市町村 >

熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村

後援 国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、熊本県、熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、山都町

開催日時

シンポジウム
開催日時
会場
参加費

満員御礼

プログラム

開会式 司会：岡山大学大学院 三村 聡 教授

13:30-13:35 開会挨拶 小嶋 光信 (一財) 地域公共交通総合研究所 理事長

13:35-13:40 主催地挨拶 多野 春光 熊本市 副市長

講演

13:40-14:15 「地域公共交通の再デザイン 熊本市の挑戦とその成果」

熊本大学大学院 溝上 章志 教授

14:15-14:50 「(仮題) 中国地域の激甚災害と公共交通について」

広島大学大学院 藤原 章正 教授

14:50-15:20 「(仮題) 公共交通の明るい未来・乗り越えるべき課題」

国土交通省 総合政策局公共交通政策部交通政策課 蔵持 京治 課長

15:20-15:30 休憩

パネルディスカッション

15:30-17:00 災害復興から明るい未来への道筋を示す～公共交通の役割と希望

< パネリスト > (アイウエオ順)

● 政策研究大学院大学 家田仁 教授

● 東京大学生産技術研究所 伊藤 昌毅 特任講師

● (予定) 株式会社玉の湯 桑野和泉 社長

● (一財) 地域公共交通総合研究所 小嶋光信 理事長

● (予定) 熊本都市バス株式会社 高田 晋 社長

● 国土交通省九州地方整備局 未定

< コーディネーター >

岡山大学大学院 三村 聡 教授

まとめ

17:15-19:00 中締め

交流会 5階大広間 (立食方式予定) 実費 3,000 円程度

場所：熊本国際交流会館 大ホール
熊本県熊本市中央区花畑町4-18

JR熊本駅より

◆ 熊本市電で約15分、花畑町下車、徒歩約3分

◆ 都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バスで約10分、
交通センター下車、徒歩約3分

◆ タクシーで約10分

熊本空港より

◆ 車で約45分

◆ 九州産交バスで約45分、交通センター下車、徒歩約3分

九州自動車道

◆ 熊本インターチェンジより車で約30分

◆ 植木インターチェンジより車で約45分

◆ 益城熊本空港インターチェンジより車で約30分

熊本交通センターより

◆ 徒歩約3分

